

一般競争入札(最低価格落札方式)に関する質問及び回答(Q&A)

最終更新日:2025年8月13日

独立行政法人情報処理推進機構

件名: 「デジタル事例データベースの追加機能開発」

項番	資料名	頁番号	項目名	質問内容	回答内容	回答掲載日
1	入札説明書	p. 18	3. 実施期間	6.3.1～6.3.3 と 6.3.5の公開可否の時期、基準についてご想定があればご教示いただけますでしょうか。また公開可となった場合、この時点でのペネトレーションテスト、リリース審査会が追加で発生する認識で相違ございませんでしょうか。	プロジェクト計画書作成の際に調整をさせていただきます。ペネトレーションテスト、リリース審査会は追加となります。	2025年8月4日
2	入札説明書	p. 19	5.1.3 追加機能の開発	「サイトのデザイン及びモジュールについては IPA が指定するドキュメントの内容に対応することも求められる 」についてデジタル庁 デザインシステムのような、フォーマットもしくは規定が既に存在しており、本件対応においてご提供頂ける認識で合っておりますでしょうか。	IPA よりドキュメントを提供いたします	2025年8月4日
3	入札説明書	p. 19	5.1.3 追加機能の開発	現行システムにおいてはオープンソース化を踏まえた実装が既に実施されており、こちらの記載は主に本件で新たに実装となった箇所をスコープとする認識で合っておりますでしょうか。	ご認識のとおりです。	2025年8月4日

4	入札説明書	p. 20	5.1.8 ペネトレーションテストへの対応	貴機構で委託した事業者様でのご対応とありますが、主にどの作業を委託するか、ご想定があればご教示いただけますでしょうか。テストの実施においては実装システムに対して一定の理解が必要と考えており、テスト仕様書の作成等は本件の請負者等のスコープとする必要があるのではないかと懸念してのご質問となります。	本調達により開発する機能が対象となります。診断事業者の環境からインターネット経由でアプリケーションに関する脆弱性の診断を実施します。実施にあたり請負業者に資料等を準備いただくことはありません。	2025年8月4日
5	入札説明書	p. 20	5.1.10 サイト公開に向けた対応	貴機構と運用保守事業者様の委託契約に関して、本件対応期間中は継続している認識で合っておりますでしょうか。また、本件開始後はサイト公開、ペネトレーションテスト補助の作業に関わらず、現行システムに関する問い合わせや、それらを含む会議体の設定は運用保守事業者様に対して可能である認識で合っておりますでしょうか	本件対応期間中は継続しています。途中での交代等も予定されていません。現行システムに関することは運用保守事業者が実施します。	2025年8月4日
6	入札説明書	p. 21	6.1.3 セキュリティ対策	現行システムの機能においては記載のセキュリティ要件は全て担保されている認識で合っておりますでしょうか。	担保されております。	2025年8月4日
7	入札説明書	p. 22	6.2 ユーザー	No1（一般利用者、サイト閲覧者）については公開済の記載がございますが、No3（サイト管理者（IPA 職員））は実装されていない認識で合っておりますでしょうか。またその場合、一般利用者向けアカウントの管理や投稿事例の管理はどのように行っていたかご教示いただけますでしょうか。	No. 3の「サイト管理者向けアカウントの管理」は実装済みとなります。一般には公開しておりません。	2025年8月4日

8	入札説明書	p. 23	6. 3. 4 API の実装及び 提供	APIに提供方法、提供場所について、ご想定があればご教示いただけますでしょうか。 API実装のみでなく、納品後に発生する一般企業や自治体への提供もスコープとなるかを懸念してのご質問となります。	「提供」は本調達のスコープ範囲外です。	2025年8月4日
9	入札説明書	p. 23	6. 3. 6 AI インテリ ジェント 検索 機能	AI インテリジェント検索機能について、検索、学習対象とするデータは、全事例データのための認識で合っておりますでしょうか。その他対象のご想定があればご教示いただけますでしょうか。	LLMとRAGが検索対象となります。RAGは全事例データを想定しています。	2025年8月4日
10	入札説明書	p. 26	11. 1 納入 物件	納入物件についてのご質問となります。 クラウド環境に関わる内容について開発用の Azure 環境は対象外の認識で合っておりますでしょうか。	開発用の Azure 環境は対象外です。	2025年8月4日
11	入札説明書	p. 19	5. 1. 3 追加 機能の開発	「開発技術は、既存環境の開発技術（Azure、C#、Visual Studio 等）を用いること。開発用の Azure 環境は請負者にて準備すること。」について、本件で利用するライセンス、ソフトウェアは本調達に含めますでしょうか。（Azure、Visual Studioライセンスを想定）	開発用のライセンス、ソフトウェアは請負業者にて準備をお願いします。	2025年8月4日
12	「デジタル事例データベースの追加機能開発」要求仕様	p. 34	差し戻し	事例申請差し戻し画面のNo. 8公開日、No. 9公開終了日は、差し戻し時点では設定されていないと想定されます。 表示しても常にブランクになります。表示が必要でしょうか。	No. 8公開日、No. 9公開終了日は、差し戻し時点では設定されていないので、表示不要とします。該当の仕様部分を変更しました。	2025年8月13日

13	「デジタル事例データベースの追加機能開発」要求仕様	p. 39	事例投稿へのリンク	ユーザー向けTOP 画面のNo. 6” 事例投稿はこちら” リンクはログイン後、No. 8” 事例投稿ログアウト” リンクに変更されるとの事です。ログイン後に事例投稿のTOP画面へ遷移出来るリンクが無くなってしまいます。変更後はどこから遷移することになるでしょうか。	ログイン後とはp. 12以降に表示する画面を想定しています。ログアウトをすることでp. 39の画面に遷移する想定です。仕様書のP39 No. 6とNo. 8の説明を変更しました。	2025年8月13日
14	「デジタル事例データベースの追加機能開発」要求仕様	p. 47、50	事例投稿ユーザー	事例投稿ユーザーの承認は行われなくなりましたので、以下の仕様項目で承認状態を取得することも設定することもできません。不要という認識で問題ありませんでしょうか。 Page47 ・No. 13 APIから登録されたユーザーは“IPA管理者により登録承認済” 状態とする。 ・No. 14 指定したIDのユーザーが登録されているかを承認状態も含めて取得する。 Page50 ・No. 10 事例投稿ユーザーの承認、修正依頼等の申請状態と履歴を管理	ユーザーの承認管理はありませんので、下記のようにします。 ・No. 13の該当の記述は削除とします。 ・No. 14は指定したIDのユーザーが登録されているかを確認することは可能なので、そのままとして「承認状態を含めて取得する」は削除とします。 仕様書の該当の部分を変更しました。 Page50について ・No. 10は削除しました。 仕様書の該当の部分を変更しました。	2025年8月13日
15	「デジタル事例データベースの追加機能開発」要求仕様	p. 13、14	事例状態	以下画面項目には状態として” 保存” が登場しますが他では登場しません。 状態として” 公開中”、” 公開申請中”、” 非公開” の3種で” 保存” は存在しないという認識で問題ありませんでしょうか。 Page13 ・No. 3 状態 画面イメージには存在しない Page14 ・No. 4 記事状態	Page13 No. 3の「保存」という文言は削除しました。 仕様書の該当の部分を変更しました。 Page14 No. 4の保存ボタンは必須チェックをしないで記事を保存する機能であり、保存後は非公開の状態となります。 仕様書のNo. 2の保存ボタンの説明を変更しました。	2025年8月13日

16	「デジタル事例データベースの追加機能開発」要求仕様	p. 11、17	管理者による非公開処理	状態の一覧上”公開”の操作可能なユーザー項目に”管理者は閲覧可能。また、非公開処理が可能。”との記述がありますが、実施可能な画面が存在しません。 管理者による非公開処理は行えないという認識で問題ありませんでしょうか。	p. 31の投稿事例情報管理画面で公開終了日を設定することで非公開処理をすることになっており、管理者による非公開処理は可能です。	2025年8月13日
17	「デジタル事例データベースの追加機能開発」要求仕様	p. 11、27、29	管理者と非公開事例	Page29の画面項目No. 2状態で”非公開”が選択できますが、Page11、27の状態の一覧の”非公開”の説明項目では”投稿者のみ閲覧可能。”、操作可能なユーザー項目では”管理者には非公開で認知できない。”とあります。どちらが正しいのでしょうか。	非公開とした事例の非公開時点の内容は管理したいと考えています。よって、No. 29の非公開状態は利用します。また、非公開とした事例の再編集内容を管理者が閲覧する必要がないため、認知不要としています。	2025年8月13日
18	入札説明書	p. 20	ペネトレーションテストへの対応	5. 1. 8には、検証環境のプログラムのアップロード、クラウドサービス(Azure)の設定は「請負業者」が実施すると記載されていますが、「請負業者」に検証環境の管理者アカウントを発行いただけるのでしょうか。	「請負事業者」に検証環境の管理者アカウントを発行します。	2025年8月13日
19	入札説明書	p. 20	サイト公開に向けた対応	5. 1. 10には、本番公開のため（検証環境から本番環境への反映）のプログラムのアップロード、クラウドサービス(Azure)の設定は、「請負業者」が「既存環境の運用保守事業者」を支援すると記載されていますが、「請負業者」が手順書等の資料を作成して「既存環境の運用保守事業者」へ引き渡すような支援を想定されていますか。	ご認識のとおりです。但し、運用保守業者がよく理解できない事項があるときは、運用保守事業者へご協力をお願いいたします。	2025年8月13日
20	入札説明書	p. 20	5. 1. 8 ペネトレーションテストへの対応	検証環境へのプログラムのアップロード、クラウドサービス(Azure)の設定等は請負業者が実施しますが、動作環境構築後に検証環境を総合テストの環境として利用することは可能でしょうか。	検証環境を総合テストの環境として利用することは可能とします。但し利用方法・利用期間については運用保守事業者と調整の上、決定します。	2025年8月13日